

お菓子とパンの店

工房kudoがOPEN

5月28日、大留地区に「お菓子とパンの店『工房kudo』」がオープンしました。

店主の工藤秀一郎さんと妻の三代さん（字大留）ご夫妻は3月まで道の駅もんじゅの和菓子工房「菓処あまのがわ」で和菓子やパンなどを製造、販売していました。工藤さんは「地元の野菜や道内産の小麦など、素材にこだわった美味しいと思えるものを提供していきたい。1つからでも気軽に買いたいもらえる、地域に寄り添い愛されるお店にしたい」とお話されていました。



天の川鮎愛好会組合

稚アユ2万匹放流

5月22日、天野川のアユ資源維持活動を実施している「天の川鮎（あゆ）愛好会組合」（三浦實会長）が天野川と支流の上の沢川で稚アユ2万匹を放流しました。

同愛好会組合では35年以上まえから協賛金を募り放流事業を行っており、中止は新型コロナウイルスの影響で断念した昨年を含め3回のみで、組合員によって秋田県の阿仁川近くの養殖池から2日ばかりで搬入されたとのこと。組合員の方にお話を伺ったところ「いまから鮎釣りを楽しみにしている」とのことでした。



疫病退散祈願

上ノ国八幡宮

上ノ国八幡宮の境内に「茅の輪」が設置されました。

茅の輪とは、カヤを編んで作られた大きな輪で、くぐることで厄が落ち疫病から免れるといわれています。

新型コロナウイルス感染症の収束を祈願して、去年に引き続き松崎宮司と神社役員、町民の方々によって作製されました。

松崎宮司は、「昨年より大きく立派な輪を編むことができた。ぜひ町民のみなさんにくぐってもらいたい。」と話していました。

6月30日の大祓以降も数日間はその設置を続けるとのこと。



夷王山に新名所

上ノ国花畑プロジェクト

5月28日、夷王山・夜明けの塔付近で菜の花とハートの形をしたネモフィラが咲いていました。

これは上ノ国町観光協会が実施している「花畑プロジェクト」として植栽されたもので、昨年からの取り組みが始められていました。

このプロジェクトでは今後、ハートの中央部にクリムゾンクローバーを播種し、7月頃には花が終った緑の菜の花畑の中央に赤色のハートが浮かび上がる予定とのこと、上ノ国町の新たな名所として期待されます。

